

Ⅰ 調査の概要

(1) 調査の目的

大阪府内の識字・日本語教室における活動状況の詳細な実態を把握し、現場の課題やニーズを明らかにすることによって、各教室の活動をいっそう充実させるための支援につなげる。

(2) 調査対象

各市町村が把握している識字・日本語教室(205 教室)
(回答教室数 191 教室【令和 4 年2月時点】)

(3) 調査方法

各市町村識字・日本語学習担当課を通じて、その市町村管内の識字・日本語教室に調査票を配付し、学習者数、運営上の課題やニーズなどを尋ねる「アンケート調査」への回答を依頼した。

(4) 調査期間

令和3年7月6日～令和3年8月31日

※調査期間中、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う、緊急事態宣言が発令されたため、令和3年8月31日以降の回答も有効数として集計している。

(5) 市町村教室数

